

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	渡辺 勉
	全体計画			経費区分	-	内線	3416
事務事業名	4170 松くい虫防除対策事業						
所 属	150100 産業振興部・農林課						
施 策	05012200 森林の多面的機能の維持保全と共生						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費					
	事業	020000 松くい虫防除対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
松林に甚大な被害を与えるマツノザイセンチュウの媒介であるマツノマダラカミキリの発生防止のため、薬剤散布及び被害木の早期駆除を行う。				赤松は臥竜山などの積悪な土壌にも育成し、土砂の流出防止、崩壊防止等山林の保全に重要な役割を果たしている。被害防止の充実を図ることにより、市民の憩いの場として自然環境を後世に伝えられる。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
被害木伐倒駆除事業 756m ³ 881本 地上薬剤散布事業 18.36ha	被害木伐倒駆除事業 480m ³ 480本 地上薬剤散布事業 18.36ha
平成29年度 予定	平成30年度 予定
松くい虫被害木伐倒駆除事業 480m ³ 620本 地上薬剤散布事業 18.36ha	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		16,956	19,673
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	9,313	8,727
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		7,643	10,946
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.2	0.2
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,443.8	1,443.8
	嘱託職員	551.0	551.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,994.8	1,994.8
市民一人当たりの経費		0.4	0.4
総額		18,950.8	21,667.8

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	16,956	松くい虫薬剤地上散布 被害木伐倒駆除
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	17,000	松くい虫薬剤地上散布 被害木伐倒駆除
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	20	松くい虫防除事業補助金（文化財等）
その他	2,653	報酬2278千円、芝消費375千円

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	近隣市町村においても松くい虫による被害の発生が増加傾向にあるが、予防（地上薬剤散布）と伐倒駆除により対応している	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	同上	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	補助事業を活用し被害拡大防止につとめているが、全国市長会及び県市長会を通じて予算の増額を要望した	

振り返り（決算年度の取組み課題）

松くい虫被害から松林を守るため、「守るべき松林」と、その周囲で被害の拡大を防止する「周辺松林」とに区分し、従来の全量駆除から守るエリアを絞込む選択と集中による防除対策を展開することが必要。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
被害拡大防止のため、継続した取り組みが必要である。 。		松くい虫被害の拡大、まん延を防止するため防除対策を継続する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	